

「外国人共生研究会」の活動状況について

国内の人口減少と労働力不足に対応して、在留外国人・労働者が増加するなか、外国人住民への自治体の対応や、外国人家族に対する保健・医療・福祉・教育のあり方などについて調査・研究を行うため、「2019自治講座」の成果を足がかりにしながら、2020年度より「外国人共生研究会」（主査：吉田徹・同志社大学教授／当研究所理事）を設置し、活動を開始しています。

本研究会の2019～21年度の活動は以下のとおりです。

【2019年度】

(1) 2019自治講座 外国人住民の増加と自治体の課題

- 日 時 2019年11月29日（金）13:30～16:30
- 会 場 北海道自治労会館 3F 中ホール
- 内 容
 - ・ 基調講演「道内における外国人労働者の現状と受け入れ課題」
講師 宮入 隆 氏（北海学園大学教授）
 - ・ パネルディスカッション
パネリスト 高橋信好 氏（紋別市国際交流課国際交流サロン担当参事）
西 千津 氏（カトリック札幌司教区難民移住移動者委員会
専従スタッフ）
三浦康幸 氏（占冠村企画商工課長）
コメント 宮入 隆 氏（北海学園大学教授）
司会 佐藤克廣 氏（北海学園大学法学部教授／当研究所理事長）

→ 本講座の記録は、所報2020年1月号（第612号）に掲載。

【2020年度】

(1) 第1回学習会

- 日 時 2020年6月18日（木） 15:00～17:00
- 会 場 北海道自治労会館 3F 役員会議室
- 内 容
講義「あなたの隣りの外国人」
講師 鈴木 一 氏（札幌中小労連・地域労組副委員長）

- 本学習会の記録は、所報2020年7月号（第618号）に掲載。
鈴木一「不当解雇事件から見える道内の外国人技能実習制度の現状と
労働組合の課題」

【2021年度】

（1） 道内の在留外国人の状況に関する調査・分析

- 趣 旨 出入国在留管理庁作成・公表の「在留外国人統計」に基づき、道内の
在留外国人の状況・特徴（2012年～2020年）を分析すること
- 時 期 2021年4月～5月
- 実施者 正木浩司（当研究所研究員）

- 本件のレポートは、所報2021年5月号（第628号）に掲載。
正木浩司「道内における在留外国人の分布状況とその特徴について
－「在留外国人統計」（2012年12月～2020年6月）に基づき」

（2） 第2回学習会（第57回定期総会記念講演会）

- 日 時 2021年6月25日（金） 15:30～17:00
- 会 場 北海道自治労会館 3F 中ホール（ウェブ開催併用）
- 内 容
講演「人権としての国籍」
講師 館田晶子 氏（北海学園大学法学部教授）

- 本学習会の記録は、所報2021年9月号（第632号）に掲載。
館田晶子「人権としての国籍」

（3） 第3回学習会

- 日 時 2021年9月3日（金） 15:00～17:00
- 会 場 北海道自治労会館 3F 役員会議室（ウェブ開催併用）
- 内 容
講義「在留外国人に対する社会保障制度の運用状況」
講師 西 千津 氏（カトリック札幌司教区・難民移住移動者委員会
専従スタッフ）

- 本学習会の記録は、所報2021年11月号（第634号）に掲載。
西千津「在留外国人に対する社会保障制度の運用状況」

(4) 第1回現地視察・調査

- 日時 2021年12月27日(月) 14:00～16:30
- 会場 もんべつ国際交流ステーションすまいる 2F 会議室
- テーマ 紋別市の外国人支援・国際交流事業の現状、実施体制などについて

- 対応者 高橋信好 氏 (紋別市国際交流推進室 室長)
千葉啓介 氏 (紋別市国際交流推進室 副参事)

→ 本調査のレポートは、所報2022年5月号(第640号)に掲載予定。

※ 講師等の所属・役職名は研究会開催当時のものです。

以上